

2月12日(土)

第1会場

11:30~12:30 ランチョンセミナー1

2階 講堂

〔座長〕 櫻田 春水 東京都立広尾病院循環器科

ICD shock reductionの重要性と可能性

川崎市立多摩病院循環器科 ○副島 京子

共催；日本メドトロニック株式会社

2月12日(土)

第1会場

12:30~13:30 ランチョンセミナー2

2階 講堂

〔座長〕 今井 克彦 広島大学病院心臓血管外科

The Excimer Laser Cardiac Lead Removal

University of Miami Health System ○ Roger G.Carrillo

共催；ディーブイエックス株式会社

2月13日(日)

第1会場

11:30~12:30 ランチョンセミナー3

2階 講堂

〔座長〕 **Pedro Brugada** Cardiology/Center for Heart Disease, UZ Brussel Campus Jette

Home Monitoring for Japan: Current Status and Keys for Future Success

藤田保健衛生大学循環器内科 ○渡邊 英一

共催；バイオトロニック・ジャパン株式会社

2月13日(日)

第1会場

12:30~13:30 ランチョンセミナー4

2階 講堂

Electrical stormの実態と対策

【概要】

最近の研究によると、ICDショックは突然死を減らす一方で、作動自体が患者の予後を悪化させるという負の側面が指摘されている。特に複数回のショックを経験した患者の予後は不良であり、ショック作動をいかに回避するかという課題への取り組みは極めて重要である。特にICDの登場によって頻回に経験されるようになったelectrical storm (Storm) は生命予後のみならず、患者のQOLに甚大な悪影響を及ぼす。

今回のシンポジウムではStormについて最も豊富な経験を有する2名の演者にご発表頂き、Stormの実態とその対策について考察する。また、昨年から全国の施設が参加して開始された前向き登録試験NIPPON stormについても紹介し、NIPPON stormの意義と本試験に期待されるべき側面について討論したい。

〔座長〕 清水 昭彦 山口大学大学院医学系研究科保健学系学域
栗田 隆志 近畿大学医学部循環器内科

国立循環器病研究センター心臓血管内科 ○野田 崇

新潟大学大学院医歯学総合研究科第一内科 ○古嶋 博司

近畿大学医学部循環器内科 ○栗田 隆志